



幼い時の体験が原点

学 園 長 小 島 澄 人

40年余り幼稚園の教育に携わり毎日当たり前のように、笑い声と笑顔に溢れた職場に身を置けたことに感謝するばかりです。素晴らしい教職員、保護者、子どもたちに心底から熱意が傾けられた。悔いない人生、また最後の最後まで関わっていたい、1年365日を費やしても悔いはない。幸せです。

一千の輝く瞳、そんな透き通る瞳に満ちた幼児教育、いっぱい汗をかき、いっぱい手を汚せるのも子どもたちだからこそ、幼稚園を送り出した数、約1万5,000、その一人ひとりに「ありがとう」を贈りたい。毎年100人余り、特別支援を要するハンディキャップを抱える子どもたちが幼稚園生活を送っています。自閉症・ダウン症・脳性麻痺・吸引や導尿、胃瘻等の医療行為、車椅子の子どもたち、様々です。「みんな違ってみんないい」、インクルーシブ教育に取り組んで40年、年々全国から引っ越してくる園児が増えてきました。夢は、子どもたちがいつでも入園出来、保護者が安心でき、ほっと出来る時代が来たらなあ。どの子どもどの子も笑顔、幼稚園の一番の目標です。

何年か前、神妙に真剣な顔で入園の相談に来たお母さんに、私が「明日からでも来てください」、そう発するや否や泣き崩れてしまいました。暫く泣きじゃくる程のその姿に、びっくりいたしました。30余りの幼稚園に断られたとのこと、断られまいと必死だったのです。

特別支援教育を続けられたのは、幼児時代に原点があるような気がします。兄弟11人、教師だった父親、一人で子育てする母親。毎日のように遊びにやって来る近隣の子どもたち、小学校の皆が我が家にやって来た。毎晩のように飲みに来ていた学校の先生たち、まるで学校の放課後が我が家で展開されていました。遅くなると泊っていく先生も、時には子どももいました。幼稚園でいう「お泊まり会」、先生たちには「宿泊研修会」だったかもしれない。勿論飲み会でしたから、子どもたちのことを話したり、仕事の愚痴を零したり、それはそれなりに有意義だったに違いない。今では有り得ないことだが、私という生徒が先生たちのお酒を買いに行ったのです。回数は数えきれません。昭和20年代生まれの私には、本当に大好きな先生、大好きな友だちでした。一緒に泳ぎ一緒に魚釣り、山に登り木に登り、隠れ家を作り暗くなるまで遊んだ幼少時代、先生たちも船に乗って魚釣り、一日が海の上で終わった時もありました。教育カリキュラムがそう組まれていたかどうか確かめようがないが、



本当に楽しかった。今幼稚園でカリキュラムの柔軟さ、有り得ない発想の保育をやって貰いたい思いは、そこが原点です。

「みんな違ってみんないい」、それは子どもたちも違い先生たちも違うのだから、クラスクラスの保育の展開は違って当たり前、同じであるのがおかしいはずです。ここでは田んぼに入って泥んこになっていたり、お部屋では絵本の読み聞かせ、あそこでは砂場遊びがあれば、裏山では木登りに興じているクラスもある。毎日があちこちでのピクニックのようなメリハリある保育がみられます。のびのびした保育、生き生きした保育を目指して先生たちも集まってきます。本当に幸せです。

5つ程上の兄が、幼い時「おにいちゃんのとちどもだち」、そう言って家に連れてきた方は、今でいう「筋ジストロフィー」のお兄さんでした。私はその時確か5歳でした。背中が曲がり歩くのが苦手なお兄さんでしたが、よく私のことを可愛がってくれました。兄も自慢の友だちで「仲良く」のお手本は、幼児教育の原点です。兄は今、カトリックの枢機卿の職にありますが、幼い時の「人にあつたかく」の憧れでした。だから、今の幼稚園の教育目標は「人にあつたかく物にあつたかく自然にあつたかく、そして同僚にも妻にも夫にも家族にもあつたかく」を掲げています。

手を差し伸べる、手を貸す、手助けする、お手柔らかに、そんな「あたたかい手」でいよう、先生方にはいつもの口癖です。ある日、卒園児の男の子が遊びに来ました。自閉症のその子がパニックを起こしてしまい、先生たちが何人も声を掛け関わりましたが、床に寝そべってばたばたの時間が続きますので、私は傍に行き床に座り込んで手をその子の手添えることにしました。するといきなりその子は、私の手を握りしめ静かになりいろんな関わりが出来ました。幼児教育には「寄り添う」事の大切さもよく言われます。特別支援教育には最も大切、過言ではありません。自閉症の子が100人いれば100通りの関わりがあるとされますが、変わらぬものはその子を思う「あたたかさ」と「前向きな試行錯誤」で関わることです。

大変な事に取り組んでいる思いは無く、当たり前のように入れられる範囲で精一杯努力する、同時に一人ひとりの思いの熱さにぶつけていきたい。周りには、「園長が気が弱くて断り切れないので、ごめんね」と囁くことが多いが、本当は本気で取り組んでいます。何度もくじけそうな時がありましたが、乗り越えると、またその思いが強くなっていくのを感じます。続けられる事に感謝するばかりです。

